

いつまでも耳に残った 「炭掘る仲間」「頑張ろう」

退職者 黒川 廣

久しぶりに、新大阪駅のコロナホテルに向う。「やあ……」「無沙汰を……」お互いに知人、友人とのあいさつを交わす。今日は、本年度の三池労組定年退職者を迎える交流会の日である。交流会も楽しいが、開会前の炭掘る仲間の先輩や友人との久しぶりの再会で、お互いの消息を話し、労をねぎらうという一つの楽しみである。

ロビーもしだいに増えてくる。世話人の立山さん、宮崎さん、木村さん、平畑さんらが、なにかと世話を焼く。元宮浦関係では、こおろぎさん夫妻、水野さん夫妻が毎年常連で見えるのに、水野さんは身体の具合が少し悪いとのことで奥さんだけ見えた。竹本、三原、緒方氏らの顔も見えぬ。総評関西支部の立山氏の司会で始まる。今年は関東・関西と沖縄



本年度定年退職者旅行（関東・関西班）で、関西不知火会との交流の一こま。

へ二班に分かれたので、定年退職の方も少ないが、関西不知火会側も比例して少ない。平畑会長の挨拶のあと、自己紹介では笑いも出て固さもほぐれる。関西不知火会の前会長だった山根さんが本年二月に亡くなった……、精悍で元気がいいのの大きな声、そして笑顔が見えないのが一番残念だ。

自己紹介のときに、関東不知火会の浦田さんがひょっこり顔を出し、「飛び入りです」と加わる。「島ちゃん」と愛称の組合書記の合瀬さんと本広さんには、笑いと拍手がいつたんと高かった。元三池支部の西川さんのユーモラスな挨拶に、大笑いとなった。

元宮浦支部の原田久雄氏は教壇部やCOヨーカン販売などで、数多く関東や関西に見えている。「苦勞までした」と、握手し心から感謝する。仕事の都合で

怒りと悲しみ笑いの文学 『囚徒番号70号坑夫』を読んで

4分会(四山) 村中利行



『坑内馬と馬夫と女坑夫』につづいて出版された『囚徒番号70号坑夫』。著者は武松輝男氏。

出る。四山支部の南場さんの「北酒場」は、若々しく力強い声で披露にうまい。合瀬さんも良い声で上手だった。本人は感激して「うれしかったので」と、繰り返しておられたのが印象に残る。

炭鉱節も歌って踊り、国鉄新幹線分会の厚意の会場では、はじめ少し遠慮していたが、「炭掘る仲間」「頑張ろう」の労働歌は、関西流でなく本場仕込みで、永年の労苦、そして闘ってきた労働者の誇りと自負が、力一ぱい合唱に出て、いつまでもいつまでも耳に残った。

× × ×
お便りをいただいた黒川さんは、高槻市登町一五番五五号A三三の二〇二号にお住まいです。ありがとうございました。

既報のように本年度の定年退職者の旅行は、第一班が関東・関西、第二班が沖縄と分かれて行われた。第一班については関西不知火会、関東不知火会の皆さんとの交流会がもたれ、そのさいたいへんお世話になりました。紙上をもって心からお礼を申し上げます。

囚徒七十号坑夫の肉体と眼をとおして、明治末期から昭和初期にいたる三池炭鉱苦闘生活を中心とした、囚人坑夫の苦闘と生活実態をえぐり出している。

『みいけ』に連載された「囚徒おぼえ書」はその一部で、単行本にするために全面的に書きあらた

会社の首根っこを 今は身障者五級の身

CO患者 佐藤 寿

――前略――
先日はCO患者家族の会の総会報告など、詳細にお知らせ下さいましてありがとうございました。

現地では、患者と家族の会、遺族会の皆さんが困難な闘いのなかで、毎日努力されていることに心から感謝いたします。なにぶん遠方に住んでいますので協力ができず申し訳ありません。

「みいけ」や「分会だより」で現地の状況を知っていますが、と

くに裁判では会社側の上野・高木証人らの首根っこをきめつけてやりたいような気持ちで、歯きりしながら読んでいます。

八月に再診請求者の面接があり、その面接通知書に同封されていた病歴証には、大牟田労災病院主治医などによって「本患性高血圧、脳軟化症による右半身麻痺」と診断されていました。

しかし当地の主治医が「身体障

害者の認定検査を受けて見ては」

に身体障者認定を受けることができたし、三年早く年金も受給できたと思われ、親切に教えて下さったのが残念ながらあとまじりでした。

私は三十八年の災害で罹災、四十三三年三月に坑外特務工として現場復帰しましたが、賃金は最低で、その年の十月に半身麻痺となり四十四年六月に現場復帰したのですが、天領病院の患者グループや雑役勤務のグループの方々に助けられながら、同年七月に定年退職しました。坑内に下がる前は本社関係に勤務していましたので、坑内での勤務年数も少なく、退職手当は百万円くらいでした。

母親と五人の子供を抱え七人の家族で、本当に苦しい生活でした。

この便りを書きながら当時のことを思い出し、涙が出て老眼をくもらせるのでハンカチでふきふきしています。

現地では裁判闘争はじめ諸々の闘いで大変でしょう。なにぶん遠方のためお手伝いできませんが健康に留意して頑張ってください。うお伝え下さい。

× × ×
お便りは千葉県印旛郡富里村御料山八六七の八にお住まいのCO患者佐藤寿さんからCO患者家族の会の石原マサ子さんに宛てたものです。ともにがんばりましょう。ご返信もお待ちしております。

× × ×
いま私は、わが家から近い山下リネンサプライ株式会社の支店に近況やご意見をお寄せ下さい。

公判お知らせ

11月9日 三池大災害裁判公判
一月二十一日午後一時から、福岡地方裁判所。(47回)

9月28日 坑内火災裁判公判
一月二十七日午後一時から、同右裁判所。(40回)

原告団消息

二月六日 九・二八公判
原告団学習会(本多井護士と谷端氏を開いて)

一八日 CO検診(金子、小原原先生)

二三日 企画会議

森さんから 香典返しに カンパ

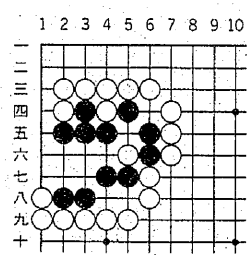
十一月二十九日に逝去されました森さん(一分会・四山)の母堂の意志として、このほど三池労組と主婦会に多額のカンパをいただきました。お礼を申しあげ故人のご冥福をお祈りします。

亡くなられた森スミエさんは長い間三池主婦会の事務局長として活動された方です。

新春詰碁

出題 日本棋院九段 加納 嘉徳

問題 黒先、黒の眼形は？
ヒント 中央の白二子を二子に捨てられる筋に注意して、黒は眼形をととのえること。
5分三段。とにかくできれば初段。



新春詰将棋

出題 日本将棋連盟八段 佐藤 勇次

持駒 飛 一三四五六七 一三四五六七



ハント 上部脱走を制し、金の入手を要します。考慮十分で二級程度。
(解答は五面に)